



■貯法■：気密容器・室温保存
■使用期限■：製造後3年(外装に表示の使用期限内に使用すること)

日本標準商品分類番号 872239

承認番号 21400AMZ00269000
薬価収載 2002年7月
販売開始 2002年7月

徐放性気道潤滑去痰剤

ムコソレートLカプセル45

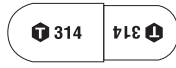
MUCOSOLATE® L45

(アンブロキシソール塩酸塩徐放カプセル)

■禁忌(次の患者には投与しないこと)■

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

■組成・性状■

販売名	ムコソレートLカプセル45
成分・含量(1カプセル中)	アンブロキシソール塩酸塩……45mg
添加物	トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、カルボキシメチルエチルセルロース、クエン酸トリエチル、エチルセルロース、ステアリン酸Mg、タルク、(カプセル本体にゼラチン、三二酸化鉄、酸化チタン、ラウリル硫酸Na)
性状	淡黄色の硬カプセル剤で、内容物は白色～帯黄白色の粒である。
外形	 3号
質量	約190mg
識別コード	本体：314 PTP：TYK314

■効能・効果■

下記疾患の去痰

急性気管支炎、気管支喘息、慢性気管支炎、気管支拡張症、肺結核、塵肺症、手術後の喀痰喀出困難

■用法・用量■

通常、成人には1回1カプセル(アンブロキシソール塩酸塩として45mg)を1日1回経口投与する。

■使用上の注意■

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1)重大な副作用(頻度不明)

- 1) **ショック、アナフィラキシー様症状**：ショック、アナフィラキシー様症状(発疹、顔面浮腫、呼吸困難、血圧低下等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。
- 2) **皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)**：皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

以下のような副作用があらわれた場合には、症状に応じて適切な処置を行うこと。

	頻度不明
消化器	胃不快感、胃痛、腹部膨満感、腹痛、下痢、嘔気、嘔吐、便秘、食思不振、消化不良(胃部膨満感、胸やけ等)
過敏症 ^{注)}	発疹、蕁麻疹、蕁麻疹様紅斑、痒痒、血管浮腫(顔面浮腫、眼瞼浮腫、口唇浮腫等)
肝臓	肝機能障害(AST(GOT)上昇、ALT(GPT)上昇等)
その他	口内しびれ感、上肢のしびれ感、めまい

注)このような症状があらわれた場合には、投与を中止すること。

2. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので注意すること。なお、減量が必要な場合には、錠剤等の剤形を使用すること。

3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

- (1)妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]
- (2)授乳中の婦人には本剤投与中は授乳を避けさせること。
[動物実験(ラット)で母乳中へ移行することが報告されている。]

4. 適用上の注意

薬剤交付時：PTP包装の薬剤はPTPシートから取り出して服用するよう指導すること。(PTPシートの誤飲により、硬い鋭角部が食道粘膜へ刺入し、更には穿孔を起こして縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告されている。)

5. その他の注意

早朝覚醒時に喀痰喀出困難を訴える患者には、夕食後投与が有用である。

■薬物動態■

1. 生物学的同等性試験¹⁾

○空腹時投与

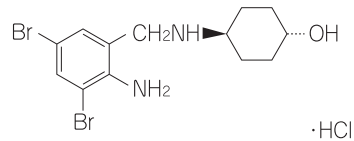
ムコソレートLカプセル45と標準製剤をクロスオーバー法によりそれぞれ1カプセル(アンブロキシソール塩酸塩として45mg)健康成人男子に空腹時単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。

	AUC _{0~36} (ng·h/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (h)	T1/2 (h)
ムコソレートLカプセル45	648.6±110.1	35.70±5.93	5.8±0.6	9.08±2.43
標準製剤 (カプセル剤、45mg)	657.6±113.9	35.09±7.10	6.0±0.9	9.10±2.51

(Mean±S.D., n=12)

■有効成分に関する理化学的知見■

一般名：アンブロキシール塩酸塩(Ambroxol Hydrochloride)
 化学名：*trans*-4-[(2-Amino-3, 5-dibromobenzyl)amino]cyclohexanol hydrochloride
 分子式：C₁₃H₁₈Br₂N₂O · HCl
 分子量：414.56
 構造式：



融点：約235℃(分解)

性状：白色の結晶性の粉末で、においはなく、わずかに特異な味がある。

メタノールにやや溶けやすく、水又はエタノール(99.5)にやや溶けにくく、酢酸(100)に溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

■取扱い上の注意■

安定性試験³⁾

最終包装製品を用いた加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月)の結果、ムソレートLカプセル45は通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

■包装■

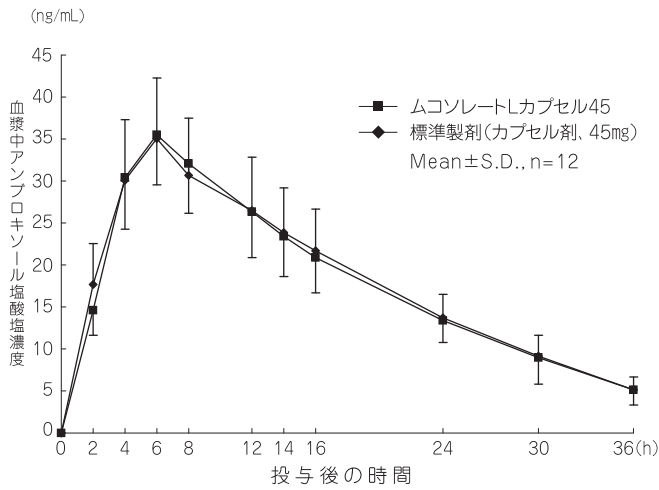
ムソレートLカプセル45：PTP100カプセル(10カプセル×10)
 PTP500カプセル(10カプセル×50)

※■主要文献■

- 1)武田テバ薬品(株) 社内資料：生物学的同等性試験
- 2)武田テバ薬品(株) 社内資料：溶出試験
- 3)武田テバ薬品(株) 社内資料：安定性試験

■文献請求先■

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
 株式会社三和化学研究所 コンタクトセンター
 〒461-8631 名古屋市中区東区東外堀町35番地
 TEL 0120-19-8130 FAX (052) 950-1305

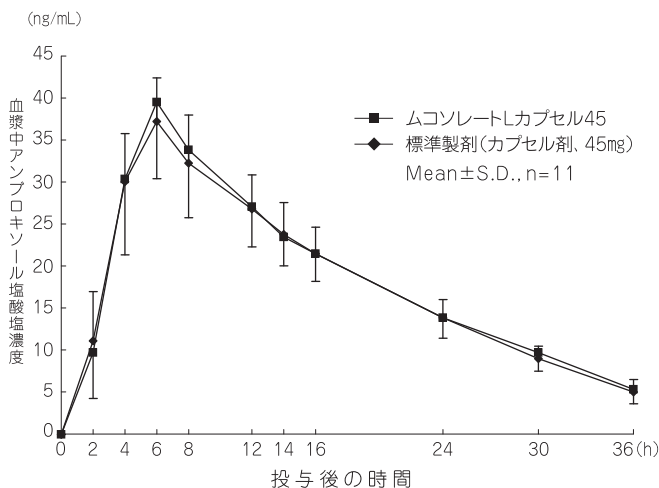


○食後投与

ムソレートLカプセル45と標準製剤をクロスオーバー法によりそれぞれ1カプセル(アンブロキシール塩酸塩として45mg)健康成人男子に食後単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC, Cmax)について統計解析を行った結果、両剤の生物学的同等性が確認された。

	AUC _{0~36} (ng·h/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (h)	T1/2 (h)
ムソレートLカプセル45	666.7±110.8	39.46±9.08	5.8±0.6	9.39±2.60
標準製剤 (カプセル剤、45mg)	654.3±67.9	38.07±4.25	5.6±0.8	9.00±2.82

(Mean±S.D., n=11)



血漿中濃度並びにAUC, Cmax等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

2.溶出挙動²⁾

ムソレートLカプセル45は、日本薬局方外医薬品規格第3部に定められた塩酸アンブロキシール徐放カプセルの溶出規格に適合していることが確認されている。